

授業科目

臨床実習I

担当教員名 山岸 達弥 他	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

数ヶ所の大学指定施設において見学を主体とした実習を行う。実習開始に先立ち、病院・施設の特徴と言語聴覚部門の位置づけと役割に関する予備知識を得た上で、実習の心構えを再確認する。実習終了後、大学内においてセミナーを開いて実習で経験した事項などを報告し合い、より広く言語聴覚障害および言語聴覚士の業務を理解して、以後の学修への動機付けを高めるものにする。

授業の目的

言語聴覚障害の基礎学問にある程度学修した段階で、多様な病院・施設の特性、および、施設内での言語聴覚部門の位置づけと役割を理解することを通して、言語聴覚士としての方向性を見据えて意欲的に学修するための動機付けを養う。

学習目標

1. 見学施設の概要を把握し、施設についての基礎知識を学ぶ。
2. 施設における各専門職の役割や業務、連携等について理解する。
3. 言語聴覚訓練場面における言語聴覚士の患者に対する訓練や評価の内容、説明の仕方や接し方、態度について見学する。
4. 見学した知識、事柄について整理し、言語聴覚士の業務、リハビリテーション専門施設への理解を深める。

授業計画

授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
施設見学の心得、各施設の特性、見学症例などに関する事前学習	事前セミナー。
新潟リハビリテーション病院及び他の病院・施設での見学実習	グループで見学。
言語聴覚士の業務、病院・施設の専門性について理解する。事後学習とまとめ	グループで討議し、まとめる。

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	実習手引きを配付する					

評価方法

実習記録ノートに記載内容およびセミナーにおける発表内容に基づいて評価する。

履修上の留意点

実習の日程、施設、グループ分けなどについては追って知らせる。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：火曜日 12:00～13:00

連絡先：yamagisi@nuhw.a.jp